

# 学問分野の壁を超えて多様な人材と共創できる トランスボーダー型価値創造人材育成プロジェクト

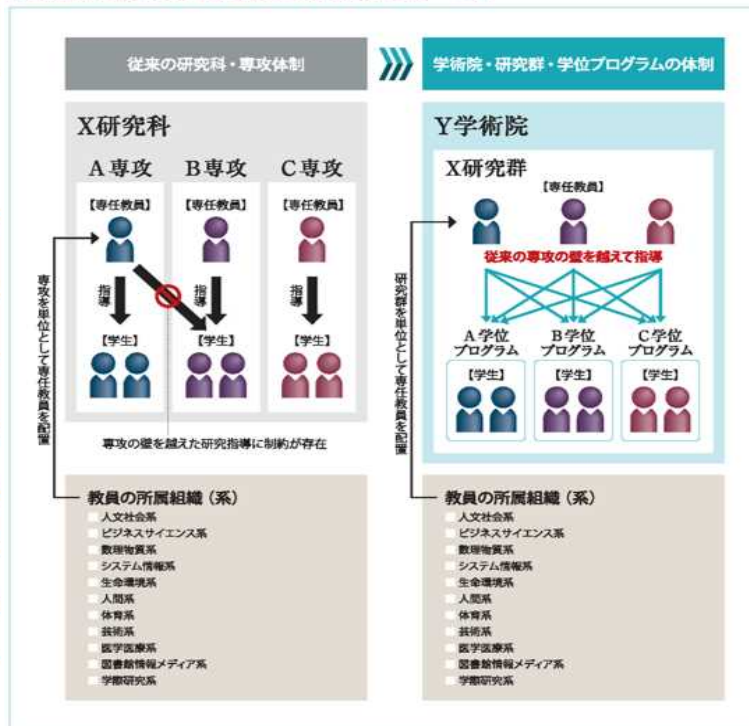
事業統括:加藤光保(副学長・理事)

本プロジェクトにより実施する取組と育成したい能力の全体像

これまで本学が培ってきた博士人材育成をベースに、高度学際型教育を具現化し、予測不能な社会変容にも対応して世界を変える力を備えた、多様なキャリアパスで活躍できる博士人材育成に取り組む。



【組織再編により実現する新しい教育体制のイメージ】



●**教・教分離**による垣根の低い組織体制を確立

●**深い専門性と学際性を共に担保する学位プログラム制**の実施

●**ダブル・メンター制**による学際的な研究指導体制の確保

●**URA研究戦略推進室**によるバックアップ体制の充実

●**アカデミアや産業界との交流イベント**の実践

○年度末にポスター発表会

○ルーブリック評価の導入(試行・暫定版)

## サロンシステムについて

### <目的>

博士人材と社会(特に産業界)とをつなぐプラットフォームとなるシステム(オンラインとオフラインの双方)を構築し、博士人材の価値創出及びキャリアパス拡充の起点となること

### <概要> 以下の3つの機能を有する

1. オンライン・マッチング機能(求人、共同研究、インターンシップ等)
2. オンラインによるコミュニティ形成機能
3. オフラインによるコミュニティ形成機能

### <利用対象>

1. 本システム登録企業・研究所等:マッチング機能利用可
2. 本学博士後期学生・ポスドク(希望者):マッチング機能利用可
3. 本学在校生(学群系・大学院前期):一部利用可
4. 本学教職員:一部利用可

### <当面のスケジュール案>

- 2021年度:試行的に運用開始
- ・対象は後期課程学生と企業
  - ・**産学連携人材育成バンク(仮)との連結の検討開始**
- 2022年度:本格始動
- ・対象をポスドク、つくば市内の研究所等にも拡充

研究計画書には、博士後期課程における研究テーマが持続可能な開発目標(SDGs)の達成にどうつながるか、若しくは、より長期的な視点として30年後、50年後の人類社会へどう貢献できるかを含めて記載させることで、自分の研究に関して社会とのつながりを考えさせる。